

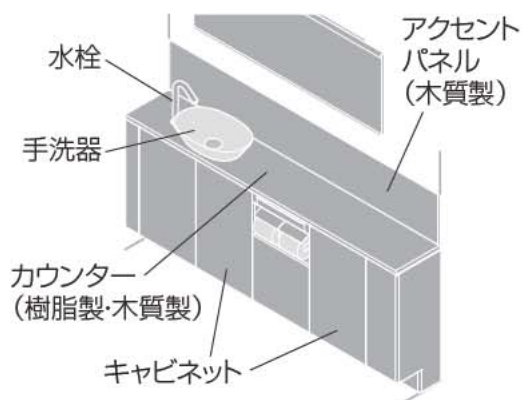
使える洗剤・道具

情報を見る

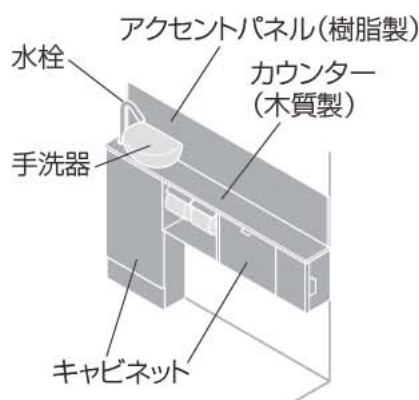
お手入れ方法



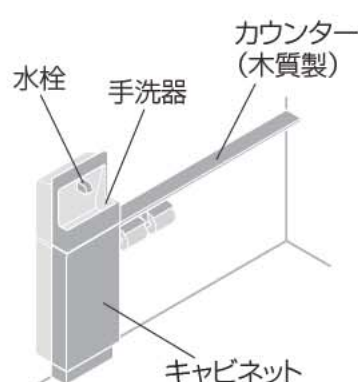
プレミアムシリーズ



コンフォートシリーズ



スリムシリーズ



日常のお手入れ用品



柔らかい布



中性洗剤

■ 水栓表面の水あかなどには

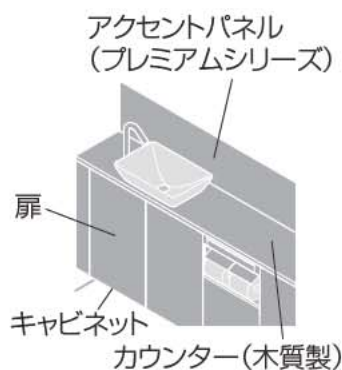
水栓に傷をつけずに、水あかなどの汚れを効果的に除去できるTOTO「蛇口まわりのクリーナー」のご使用をおすすめします。

お求めに関するお問い合わせ先:
TOTOメンテナンス(株)TOTOパーツセンター

電話番号は 裏表紙

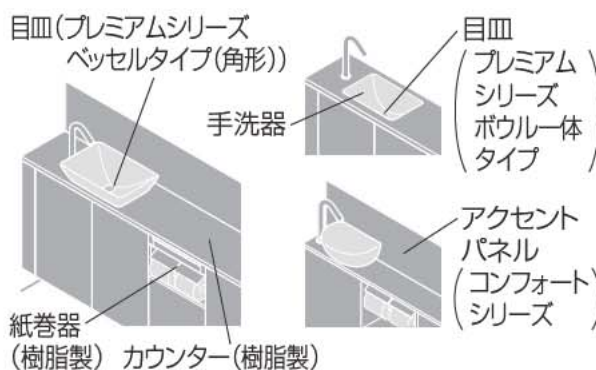
使えない洗剤・道具

材質：木質



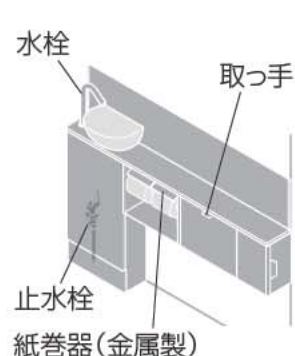
シンナー、アセトン、ベンジン、酸性洗剤、アルカリ性洗剤(塩素系含む)、研磨材入り洗剤、トイレ用洗剤、住宅用洗剤、金属ブラシ・金属たわし(スチールウール)、紙やすり、研磨材付きナイロンたわし、ナイロンたわし、たわし、メラミンスポンジ、乾いた布、トイレペーパー

材質：樹脂



シンナー、アセトン、ベンジン、酸性洗剤、アルカリ性洗剤(塩素系含む)、研磨材入り洗剤、トイレ用洗剤、住宅用洗剤、金属ブラシ・金属たわし(スチールウール)、紙やすり、研磨材付きナイロンたわし、ナイロンたわし、たわし、メラミンスポンジ、乾いた布、トイレペーパー、先のとがった物(つまようじなど)

材質：金属



シンナー、ベンジン、酸性洗剤、アルカリ性洗剤(塩素系含む)、研磨材入り洗剤、トイレ用洗剤、住宅用洗剤、金属ブラシ・金属たわし(スチールウール)、紙やすり、研磨材付きナイロンたわし、ナイロンたわし、たわし、メラミンスポンジ

材質：陶器



強酸性洗剤、強アルカリ性洗剤、※フッ素系洗剤、研磨材入り洗剤、金属ブラシ・金属たわし(スチールウール)、紙やすり、研磨材入りナイロンたわし、※フッ化水素・フッ化アンモニウムを含む

お手入れ

お手入れ方法

参照 自動水栓（ハイバックタイプ用以外）のお手入れ：自動水栓の取扱説明書
電気温水器のお手入れ：電気温水器の取扱説明書

※自動水栓・タッチレスウォール水栓は搭載品のみ

全体

- ① 薄めた中性洗剤を付けてふく
- ② 水ぶきのあと、からぶきする



水栓

軽い汚れ

水またはぬるま湯に浸した柔らかい布をよく絞って、水栓およびセンサー部の汚れをふき取る

ひどい汚れ

適量に薄めた中性洗剤を含めた柔らかい布で汚れをふき取ったあと、水ぶきしてからからぶきする

※上記方法でも汚れが落ちない場合は、TOTO「蛇口まわりのクリーナー」をご使用ください。

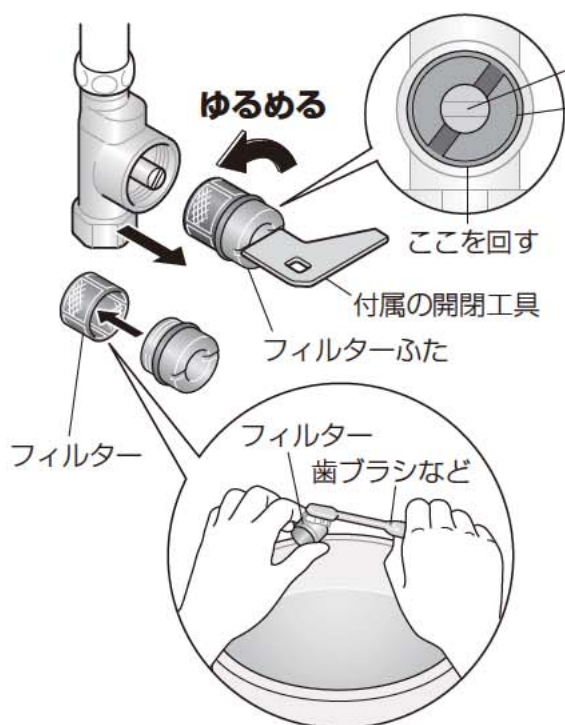
給水フィルター

⚠ 注意

必ず守る 給水フィルター、機能部フィルター、フィルター付水抜栓のお手入れをするときは、止水栓を閉めてから行う。水漏れして家財や設備などをめらす財産損害発生の原因となります。

自動水栓・タッチレスウォール水栓の場合

止水栓フィルター（スリムシリーズのみ）



- ① 止水栓を閉める **止水栓の開閉** P.11
- ② フィルターふたを外す
※水がこぼれることがあるので、ぞうきんなどを用意してください。
- ③ フィルターを外し、掃除する
※洗剤は使用しないでください。
※フィルターに無理な力を加えないでください。（変形の原因）
- ④ フィルター・ふたを元どおり取り付け
- ⑤ 止水栓を開ける **止水栓の開閉** P.11
※止水栓・配管接続部から水漏れがないか確認してください。

⚠ 注意



止水栓を開けたまま、フィルターを外さない。水が噴き出し、家財などをめらす財産損害発生の原因となります。

※フィルターの汚れ・目詰まりがひどいときは交換してください。

部品の交換 P.43

！ 注意



止水栓を開けたまま、フィルターを外さない
水が噴き出し、家財などをめらす
財産損害発生の原因となります。



必ず守る

・定流量弁は
分解しない



・定流量弁が排水に流れて
いけないように
注意する



・分解時に工具は
使用しない



※フィルターの汚れ・目詰まりがひどいときは交換してください。 **部品の交換** P.43

コントローラー別体形

① 止水栓を閉める **止水栓の開閉** P.11

※図はプレミアム・
コンフォートシリーズ
の場合



② 機能部に組み込まれている機能部フィルターを開閉工具で外す

※水がこぼれることが
あるので、ぞうきんなど
を用意してください。



③ 帽子型フィルターを外し、定流量弁を取り外す

※フィルターを掃除する際は、
付属の開閉工具で

**止水栓を閉めたあと、
機能部フィルターを
外してください。**

※ゴミがフィルターの内側に
たまります。
のぞきこんで確認してください。



④ 機能部フィルター、帽子型フィルターの網目、 定流量弁に詰まったゴミを取り除く



⑤ 機能部フィルターに定流量弁、帽子型フィルターを 取り付け、機能部に取り付ける

※機能部フィルターは奥まで確実にに取り付けてください。

⑥ 止水栓を開ける **止水栓の開閉** P.11

※止水栓・配管接続管から水漏れがないか確認してください。
※フィルターを掃除しても流量が少ない場合は、上記の
手順 ④ で定流量弁を取り外し使用してください。

コントローラー一体形

① 止水栓を閉める **止水栓の開閉** P.11



② ねじを外し、 機能部カバーを外す



③ 機能部に組み込まれている機能部フィルターを開閉工具で外す

※水がこぼれることが
あるので、ぞうきんなど
を用意してください。



④ 帽子型フィルターを外し、定流量弁を取り外す

※フィルターを掃除する際は、
付属の開閉工具で

**止水栓を閉めたあと、
機能部フィルターを
外してください。**

※ゴミがフィルターの内側に
たまります。のぞきこんで確認してください。



⑤ 機能部フィルター、帽子型フィルターの網目、 定流量弁に詰まったゴミを取り除く



⑥ 機能部フィルターに定流量弁、帽子型フィルターを 取り付け、機能部に取り付ける

※機能部フィルターは奥まで確実にに取り付けてください。

⑦ 機能部カバーを取り付ける

⑧ 止水栓を開ける **止水栓の開閉** P.11

※止水栓・配管接続管から水漏れがないか確認してください。
※フィルターを掃除しても流量が少ない場合は、上記の
手順 ⑤ で定流量弁を取り外し使用してください。

吐水口部

水量が少なくなってきたら…

① 止水栓を閉める 止水栓の開閉 P.11

② 泡まつキャップを外し、分解する

※センサー面を傷つけないよう注意してください。

※パッキンを針金などで外してから、プッシュ・内筒を外してください。

③ 吐水口キャップや内筒の網目に詰まったごみや汚れをブラシなどで取り除く

④ 内筒の小穴のゴミを取り除く

⑤ 泡まつキャップを元どおり組み立て、取り付ける

⑥ 止水栓を開ける 止水栓の開閉 P.11

⚠ 注意

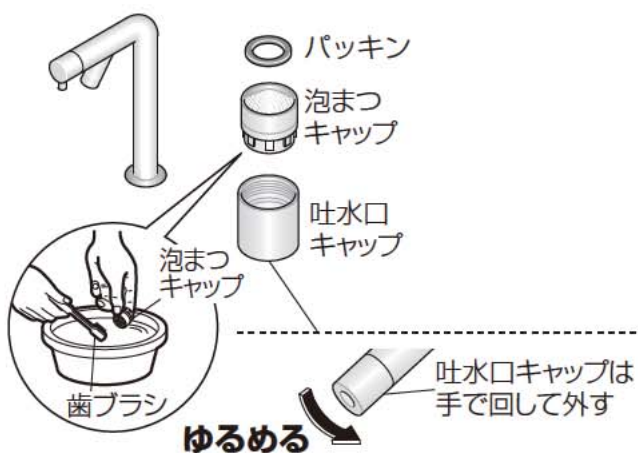


パッキンは、吐水口キャップ内の溝に挿入する
水漏れで家財などをぬらす
財産損害発生の原因となります。



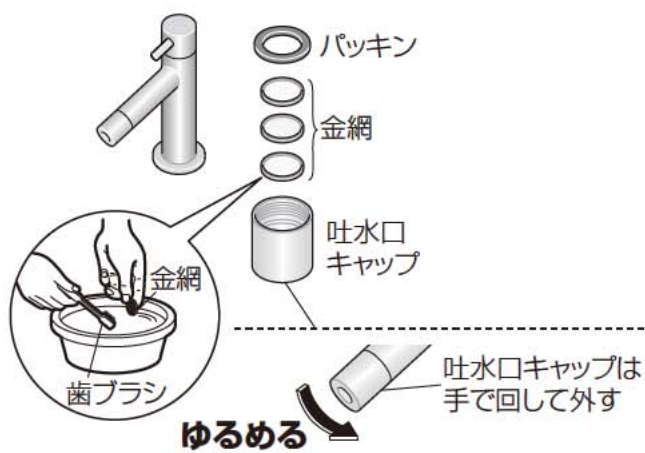
ハンドル式水栓

カウンター設置の場合
※ボウル一体タイプを除く



※すべるときはゴム手袋などを使用してください。

陶器設置の場合
※ボウル一体タイプを含む

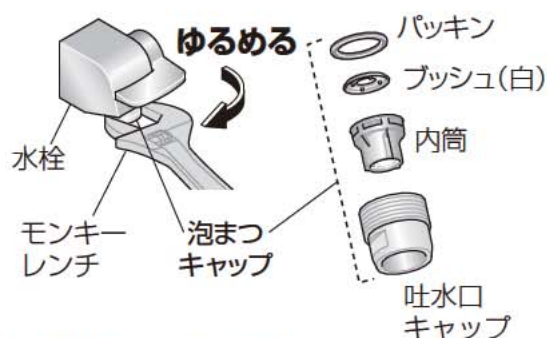


※すべるときはゴム手袋などを使用してください。

コンフォートシリーズ
ハイバックタイプの場合



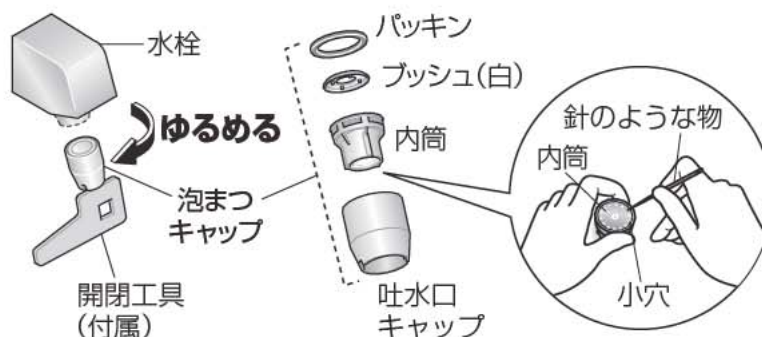
スリムシリーズの場合



取り付けは、まず手で固く締めたあと、工具で約90°締める。

自動水栓

コンフォートシリーズ ハイバックタイプ・スリムシリーズの場合



タッチレスウォール水栓

① 止水栓を閉める

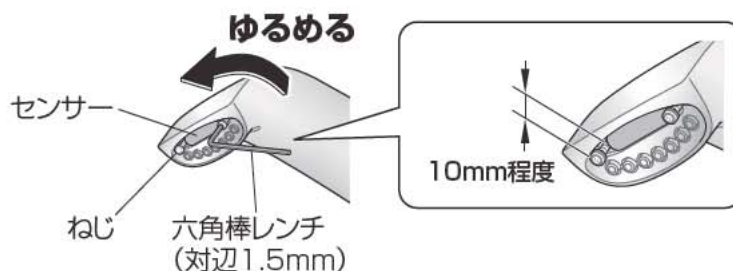
止水栓の開閉 P.11



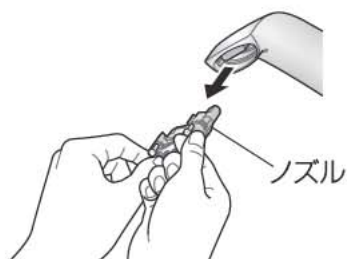
② ノズルを固定しているねじ(2カ所)を10mm程度ねじが飛び出すまで六角棒レンチ(対辺1.5mm)でゆるめる

※部品の落下防止のため、ぞうきんなどで手洗器の排水口をふさいでください。

※ノズルを外す際に、六角棒レンチにてセンサー面を傷つけないように注意してください。



③ ねじをつかんでノズルを取り出す



⚠ 注意



禁止

電動ドライバーは使用しない
過度な締め付けにより、ねじが破損する
おそれがあります。

④ ノズルに詰まったごみや汚れを水で洗い流す

※汚れがひどいときは交換してください。

部品の交換 P.43



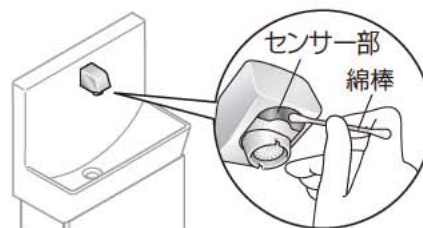
センサー部（自動水栓・タッチレスウォール水栓）

① 止水栓を閉める 止水栓の開閉 P.11

② 綿棒で水ぶきする

※ひどい汚れは、薄めた中性洗剤を付けてふいたあと、水ぶきしてください。

※センサー面を傷つけないよう注意してください。



※図はコンフォートシリーズの場合

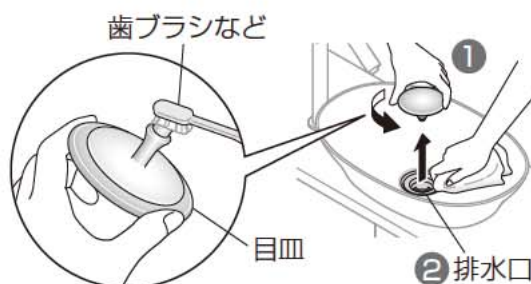
目皿・排水口まわり

- 目皿があるのは、プレミアムシリーズのみです。
- カビ・水あかなどは一度付着すると落としにくいので、こまめにお手入れしてください。

① 目皿を外し、ゴミを取る

② 目皿・排水口まわりを柔らかい布でふき目皿を取り付ける

陶器製目皿の場合（ベッセルタイプ(丸形)）



樹脂製目皿の場合（ベッセルタイプ(角形)・ボウルー体タイプ）

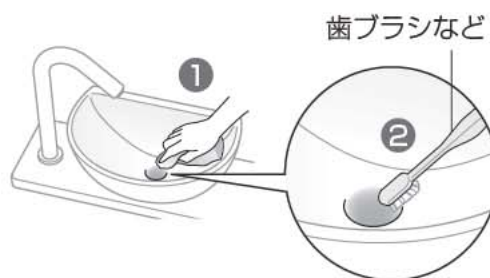


フレンジレス排水口まわり

- ① 柔らかい布、スポンジなどで汚れをふき取る
- ② 清掃しにくい場合は歯ブラシなどで汚れを取る

ひどい汚れ

適量に薄めた中性洗剤を含めた柔らかい布で汚れをふき取ったあと、水ぶきする



排水トラップ

各部のなまえ P.4



⚠ 注意



禁止

- ・酸性またはアルカリ性の排水パイプ洗浄剤は使わない
- ・洗浄剤の使用後は十分な量の水を流し忘れない
排水管を傷め、水漏れで家財などをめらす
財産損害発生の原因となります。
- ・ペーパーなどを流さない
排水トラップ詰まりの原因となります。

電源プラグ

- ① 電源プラグを抜く
- ② 刃などのほこりを取る
- ③ 電源プラグを、根元まで差し込む

⚠ 警告



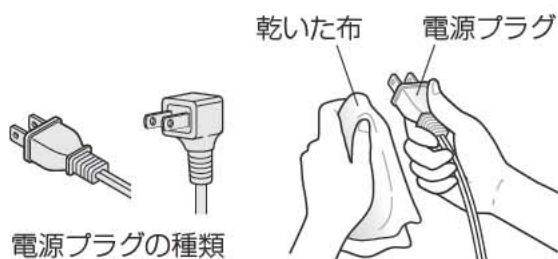
禁止

コンセント・電源プラグに水・洗剤をかけない
火災や感電の原因となります。
万一、水がかかった場合は
ブレーカーを落としてから
電源プラグを抜いて乾燥
させてください。



必ず守る

- ・電源プラグのお手入れは、コンセントから抜いて行う
感電の原因となります。
- ・コンセント・電源プラグのほこりなどを
取り除き、根元まで差し込む
火災・感電の原因となります。



冬場の凍結を防ぐ

※電気温水器、自動水栓・タッチレスウォール水栓は搭載品のみ

凍結予防には2通りの方法があります。凍結が予想されるときは、以下の処置を行いましょう！

- 商品が凍結すると機器が破損します。(水漏れの原因)
- 凍結による破損は保証期間内でも有料修理となります。
- トイレ内は暖房などで、0℃以下にならないようにしてください。

流動方式

ハンドル式水栓

少量の水を流し続ける



水抜方式

水抜栓(他社製)を排水(水抜)側に切り替える

参照 操作方法について：水抜栓の取扱説明書

止水栓は開けたままにしてください。 **止水栓の開閉** P.11

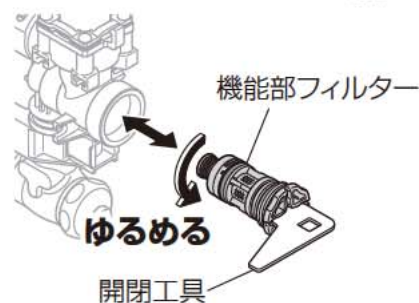
ハンドル式水栓

- 1 水栓を開ける(2～3分で水が抜ける)
- 2 水栓を閉める

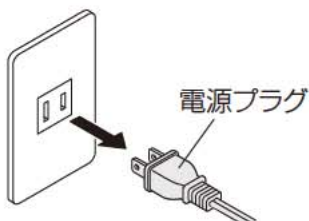
自動水栓・タッチレスウォール水栓 コントローラー別体形

- 1 センサーに手をかざして、吐水口から水が出ないことを確認する
- 3 機能部フィルターを開閉工具で外す(2～3分で水が抜ける)

※水がこぼれることがあるので、ぞうきんなどを用意してください。



- 2 水栓の電源プラグを抜く



- 4 機能部フィルターを取り付ける

⚠ 注意



必ず守る

機能部フィルターは奥まで確実に取り付ける
機能部フィルターがきちんと取り付けしていない場合、
通水の際に水漏れにより家財などをぬらす財産損害
発生のおそれがあります。